

20101

心臓カテーテルを受ける患者へカテ前訪問と集団オリエンテーションを導入して

¹新久喜総合病院

澤海 綾子¹、遠峰 洋子¹、岩野 可奈子¹、戸頃 康男¹

【目的】心臓カテーテルを受ける患者に、カテ前訪問と集団オリエンテーションを実施して、退院後の生活習慣改善につなげる関わりを提供する【方法】心カテを受ける全ての患者をカテ前に個別訪問し、動脈硬化のリスクファクターを聴取。その後の集団オリエンテーションで患者指導を実施する。【結果】個別訪問で聴取した動脈硬化のリスクファクターを聴取することで、個人の生活の問題点と改善点を把握でき、効果的に指導に結び付けられることがわかった。また、個別訪問することで、医師には言えなかったことや、日頃の生活の悩みなど聞き出すことができ、看護師が聴取した内容を医師に報告することで、患者には看護師と医師から時間差で指導を実施することが可能となった。【考察】動脈硬化の進行を予防するためにも、退院後の生活習慣改善は大切であり、入院中に効果的な患者教育を提供できることが患者にとって有益な入院期間となる。